

市民無視の美術館建設を白紙に戻し、再検討を求める市民・団体  
古谷(090-4640-4212)、神戸(854-2174)、伊藤(852-1898)

## 美術館計画白紙撤回への

## たくさんの応援、ご協力をありがとうございました

7月7日、香里ヶ丘中央公園のアラカシの森が再び、「市民の森」として戻ってきました。森へ一歩足を踏み入れると、さわやかな風が身を包んでくれます。「緑の力」ですね。

この貴重な森を約2年間、ともに見守り続けてくださった近隣の方々、樟葉や長尾、香里園、牧野など市内各地から応援してくださったの方々、本当にありがとうございました。

心優しい手紙をそっと公園の看板に張り付けてくださった方、手を振ってくださったタクシーの女性ドライバー、クラクションを鳴らして仕事に向かったトラックのおじさん、お母さんと通園する笑顔の子どもたち。ちょっとツツパリの中学生は、大声で「がんばれよ！」と言ってくれました。緑地の清掃や整備をする方々、犬の散歩など、出会った人々は数えきれません。また、暑い時には凍らせたお茶、寒い時にはカイロ、お菓子の差し入れに、力強い声援もいただきました。このように、心通じるみんなが一緒になってアラカシの森を守ったのです。これからもこの森が豊かな緑で私たちを守り続けてくれることでしょう。市民のみなさま、心より感謝申し上げます。

見守り隊代表 古谷 學、神戸陽子、伊藤久史



## 見守りをしめくり

守った森でイベント開催



8月29日に、「中央公園を守ったぞ！語る集い」を見守り活動の“しめ”として開催しました。

見守りの始まりは、2014年8月29日。準備工事のトラック進入を止めるべく公園に集まってから、雨の日も風の日も雪の日も、なんとほぼ2年間、みんなで見守ってきました。市当局に何度も申し入れ、本音でぶつかり、市民の皆様にも広くうったえ、2万筆近い署名も集めました。続けてきたミーティングのかけ声も、今回が最後です。「市民無視の美術館建設を白紙に戻し、中央公園を守ったぞー、オー！」。

裏に続く

## 中央公園を守ったぞ！ みんなの声

市民運動で市政を動かした。「市政の主人公は市民」を体現した市民パワーの勝利だ

緑が大切という思いを枚方じゅうに訴えて、みんなに笑顔を広げてくれてありがとう！

あきらめない大人の姿を子どもたちに見せてやれたこと。アラカシの森を守れたこと。とても有意義で忘れられない2年間でした

森への階段でおやつを食べられるようになって、うれしい♪

「あきらめなかったら声が届くんやなあ」という娘さんの言葉に希望を感じています

他市からはるばる参加して本当によかった。勉強になりました

森を守りたい一心で参加しました。ほんとうにうれしいです

森の樹々が喜んでます！



フェンスが取れて、夏休みも思いっきりサッカーやスポーツができた！！

炎天下の中でスポーツしていても、日陰で休憩できるようになり、親としても安心です。

記念樹として、しだれ桜を植えたい！

市民オンブズマンの必要性を感じました

クラスのみんなも喜んでる(中学生)

中央公園を守ることができて本当に良かったです！

市民の素朴な声に耳を傾け、応えていくことが行政・議会の役割ではないですか。

これからもみんなで協力して、おかしいことはおかしいと言いましょ！

森を守ったみなさん、みな神様、仏様に見えます(女神が圧倒的です)

子どもと守った香里ヶ丘。もっともっと美しい森になってほしい

わたしたち枚方に住む者の大きな希望ができました。うれしい！

この運動で枚方の市民自治が少しでも活性化されますように

今まで私たちと一緒に、市民無視の美術館建設に反対し白紙撤回を求め、署名活動へのご協力など、多大なるご支援ご声援をいただきありがとうございました。強い意志をもった市民の粘り強い運動が、市民無視の市政を動かしました。これからも、枚方市政と枚方市民が協力し合って、よりよい枚方市をつくりあげていきますように。